

試験問題番号 81

頭部CT検査(図8)の診断で正しいのはどれか。

- 1 被殻出血
- 2 視床出血
- 3 小脳出血
- 4 橋出血
- 5 くも膜下出血

試験問題番号 82

急性冠症候群について正しくないのはどれか。

- 1 80%は粥腫の破綻と破綻部の血栓形成が原因である。
- 2 虚血発作時には心電図のSTは全例上昇する。
- 3 自覚症状としては胸痛が最も多い。
- 4 不安定狭心症では心筋傷害マーカーのトロポニンTは上昇しない。
- 5 安静でも20分以上胸痛が持続する症例は高リスク群になる。

試験問題番号 83

急性冠症候群について正しくないのはどれか。

- 1 心エコー検査は心筋の虚血領域を評価するのに有用である。
- 2 H-FABPはトロポニンTに比較して発症早期の感度は高い。
- 3 CK-MBとトロポニンTの診断感度は同程度である。
- 4 心電図の異常Q波は心筋梗塞初期から見られることが多い。
- 5 下壁梗塞ではⅡ Ⅲ aVfの誘導でSTが上昇する。

試験問題番号 84

ST上昇もしくは非上昇の急性冠動脈症候群に対する初期治療としてふさわしくないものはどれか。

- 1 モルヒネ
- 2 硝酸薬
- 3 アスピリン
- 4 酸素投与
- 5 リドカイン

試験問題番号 85

急性冠動脈症候群(ACS)に関する文章で誤っているのはどれか。

- 1 ACSのほとんどは虚血性突然死により病院到着後に死亡している。
- 2 ACSの既往のある家族にBLSやAEDの使用法を習得してもらうのは推奨される。
- 3 公共の安全に携わる人がAEDに習熟してもらうのは推奨される。
- 4 地域社会で救命の鎖を創設し、維持していくことは推奨される。
- 5 虚血性突然死の原因としてVFなどの不整脈が考えられる。

試験問題番号 86

左心不全に見られる所見はどれか。

- a 起坐呼吸
- b 発作性夜間呼吸困難
- c 肝腫大
- d 頸静脈怒張
- e 急性肺水腫

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

試験問題番号 87

右心不全の原因として正しいのはどれか。

- a 高度不整脈
- b 心タンポナーデ
- c 肺梗塞
- d 肺高血圧
- e 心筋梗塞

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

試験問題番号 88

可逆的な心停止の原因に含まれないのはどれか。

- 1 低体温
- 2 高カリウム血症
- 3 糖尿病
- 4 心筋梗塞
- 5 低酸素血症

試験問題番号 89

Torsades de pointes に関する文章で間違っているのはどれか。

- 1 女性に多い
- 2 中年に多い
- 3 抗不整脈薬が誘引となることがある
- 4 デルタ波は特徴的である。
- 5 電氣的除細動の絶対適応である。

試験問題番号 90

以下の文章で間違っているのはどれか。

- 1 洞機能不全症候群はペースメーカーの適応となる。
- 2 III度の房室ブロックはペースメーカーの適応となる。
- 3 I度の房室ブロックはペースメーカーの適応となる。
- 4 心室性期外収縮はVFの原因となる。
- 5 WPW症候群では副伝導路遮断術が実施されることがある。

試験問題番号 91

大動脈瘤についての文章で間違いはどれか。

- 1 腹部大動脈瘤は腎動脈分岐部以下に多い。
- 2 腹部大動脈瘤は待機手術でも破裂後の緊急手術でも手術成績や予後は変わらない。
- 3 胸部大動脈瘤が大きくなると反回神経麻痺が起きる。
- 4 大動脈瘤の確定診断は造影CTや超音波で行う。
- 5 大動脈瘤の患者が突然のショックに陥ったら大動脈瘤の破裂を想起しなくてはいけない。

試験問題番号 92

大動脈瘤についての文章で間違いはどれか。

- 1 腹部大動脈瘤は腎動脈分岐部以下に多い。
- 2 腹部大動脈瘤は待機手術でも破裂後の緊急手術でも手術成績や予後は変わらない。
- 3 胸部大動脈瘤が大きくなると反回神経麻痺が起きる。
- 4 大動脈瘤の確定診断は造影CTや超音波で行う。
- 5 大動脈瘤の患者が突然のショックに陥ったら大動脈瘤の破裂を想起しなくてはいけない。

試験問題番号 93

急性大動脈解離の文章で誤っているのはどれか。

- 1 内膜に亀裂が生じて中膜が解離して腔(偽腔)を形成したものである。
- 2 Marfan症候群は急性大動脈解離のリスクファクターである。
- 3 急性大動脈解離患者の基礎疾患には高血圧はまれである。
- 4 急に発症した激しい持続性の胸痛・背部痛がよくみられる症状である。
- 5 Stanford分類 A型 は緊急手術となる。

試験問題番号 94

脳死に関する文章で間違いを選択せよ。

- 1 わが国での脳死は脳幹死を対象としている。
- 2 脳死は移植を前提としているときにのみ適応される。
- 3 急性薬物中毒や低体温、代謝内分泌障害は対象外となる。
- 4 脳死患者では脊髓反射が見られことがある。
- 5 脳死の発生率は全死亡の1%以内である。

試験問題番号 95

脳死判定の基準に含まれないものを選択せよ。

- 1 深昏迷
- 2 両側瞳孔の固定
- 3 脊髓反射の消失
- 4 平坦脳波
- 5 自発呼吸の消失

試験問題番号 96

脳死判定の除外例に含まれないものを選択せよ。

- 1 6歳未満
- 2 直腸温32℃以下の低体温
- 3 急性薬物中毒
- 4 肝性脳症による昏迷
- 5 40℃以上の高体温